

H31年度の省エネ補助金を を分析した

省エネ補助金分析レポート

～貴社の設備投資にご活用ください！～



≪省エネ・省電力補助金分析レポート≫

平成31年度からエネルギー使用合理化等事業者支援事業が省電力補助金と省エネ補助金の2つの補助金に分かれたため、本レポートではその2つの補助金を分析した。

【H30年度】

エネルギー使用合理化等
事業者支援事業

【H31年度】

電力需要の低減に資する
設備投資支援事業費補助金
・通称（省電力補助金）

1. 工場・事業
場単位

2. 設備単位

エネルギー使用合理化等
事業者支援事業
・通称(省エネ補助金)

3. 工場・事業
場単位

4. 設備単位

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

省エネ補助金と省電力補助金の対象設備判断表

	事業内容		申請できる補助金		例
	既存設備の使用 エネルギー種別	導入設備の使用 エネルギー種別	工場・事業場単位	設備単位	
①	電気	電気	省電力補助金	省電力補助金	EHP→EHP
②	電気	電気以外	省エネ補助金	省エネ補助金	EHP→GHP
③	電気以外	電気	省エネ補助金	省エネ補助金	GHP→EHP
④	電気以外	電気以外	省エネ補助金	省エネ補助金	GHP→GHP
⑤	①および②～④のいずれかの複合		省エネ補助金	省電力補助金と 省エネ補助金に 分けて申請	-

※更新前と更新後の設備が消費するエネルギーがどちらも電気である場合のみ
省電力補助金の対象となる

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

1. 電力需要の低減に資する設備投資支援事業費補助金「工場・事業場単位」

補助の内容

補助のポイント

- a) 電力使用量を10%以上削減
→ 中小企業：1/3以内
→ 大企業：1/4以内
- b) エネマネ事業との連携、EMSの導入、省エネ診断、運用改善等で2%以上
→ 中小企業：1/2以内
→ 大企業：1/3以内
※ 投資回収が5年以上の事業に限る

◆ 補助対象経費

設計費、設備費、工事費

◆ 予算額

91億円（工場・事業場単位と合わせて）

◆ 補助金募集期間

5月20日（月）～6月28日（金）

◆ 補助制度の執行

経済産業省

イメージ

照明



空調



冷凍冷蔵庫



給湯器・
蒸気ボイラー



工業炉



変圧器



コンプレッサ



廃熱利用



レーザー加工機



成型機
(成形機)



印刷機



「省エネ・省電力補助金分析レポート」

2. 電力需要の低減に資する設備投資支援事業費補助金「設備単位」

補助の内容

補助の概要

既存設備を、補助対象設備ごとに定められた省エネ効果の高い設備へ更新行う

補助のポイント

◆ 補助対象設備

照明、空調、産業ヒートポンプ、給湯器、ボイラ、低炭素工業炉、変圧器、冷凍冷蔵設備、産業用モータ（コンプレッサ、ポンプ、ファンなど）
10%以上の電力省エネ

◆ 補助対象経費

設備費

◆ 補助率

1/3以内

◆ 補助上限・下限

上限：3,000万円
下限：30万円

◆ 予算額

91億円（工場・事業場単位と合わせて）

◆ 補助金募集期間

5月20日（月）～6月28日（金）

◆ 補助制度の執行

経済産業省

イメージ

照明



空調



チラー



ターボ冷凍機



冷凍冷蔵庫



給湯器・ 蒸気ボイラー



工業炉



変圧器



コンプレッサ・ポンプ・ ファン・ブロウ

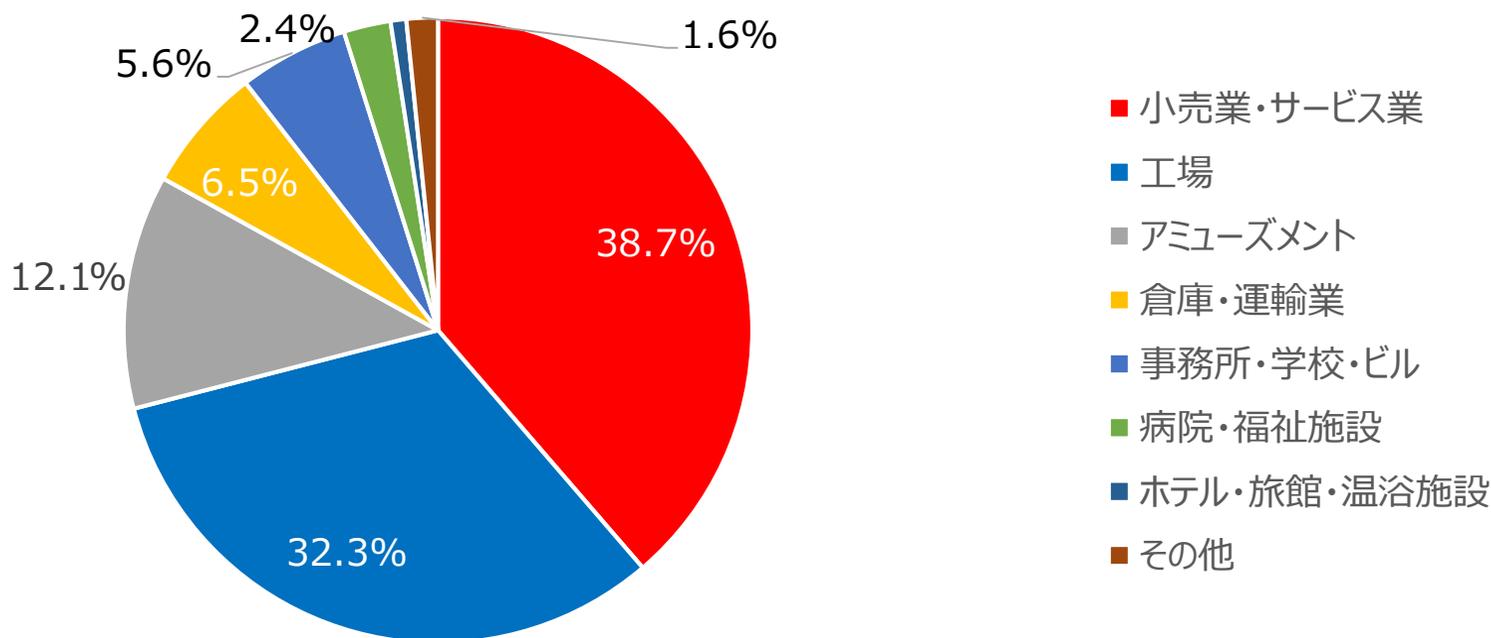


「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※電力需要の低減に資する設備投資支援事業「工場・事業場単位」今年の採択結果

■業種別 採択結果

・「小売業・サービス業」の採択が全体の4割弱を占め、「工場」が3割と続き、
「小売業・サービス業」と「工場」で全体の7割を超える結果となった



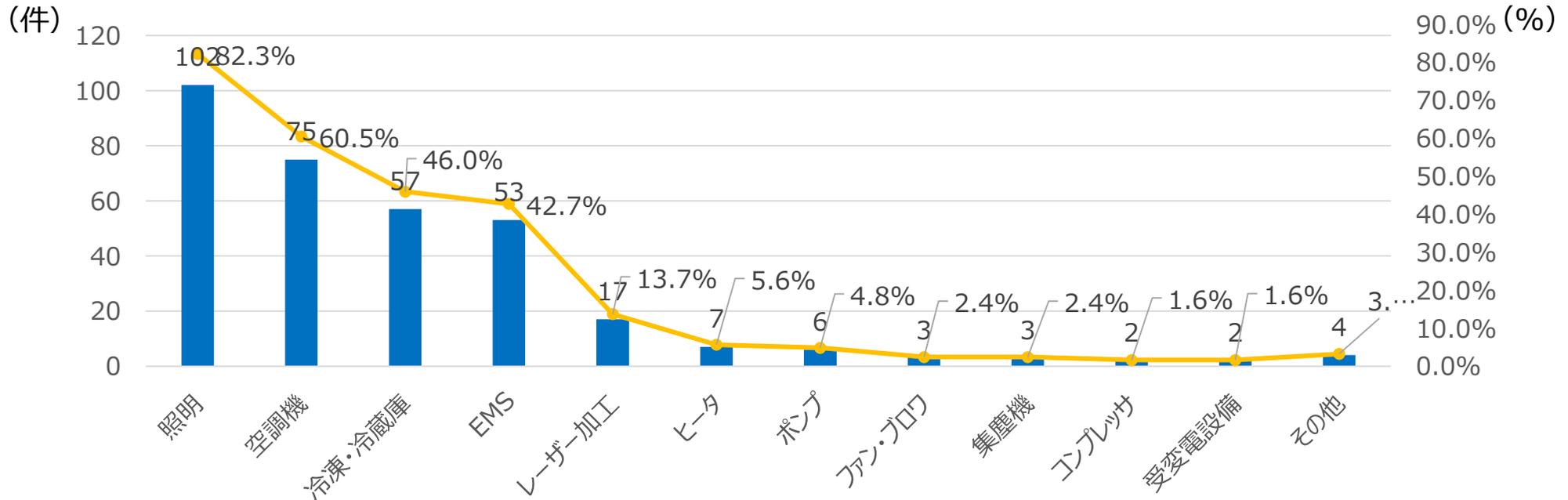
小売業・サービス業	工場	アミューズメント	倉庫・運輸業	事務所・学校	病院福祉施設	ホテル・旅館・温浴施設	その他	> 合計
48	40	15	8	7	3	1	2	124
38.7%	32.3%	12.1%	6.5%	5.6%	2.4%	0.8%	1.6%	100%

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※電力需要の低減に資する設備投資支援事業「工場・事業場単位」今年の採択結果

■設備別 採択結果

- ・ 最も採択件数が多かったのが「照明」であり、全体のおよそ80%以上が「照明」を含む採択であった
- ・ 空調機、冷凍・冷蔵庫、EMSの採択も40%以上と照明に続いて高い採択率となった



照明	空調機	冷凍 冷蔵庫	EMS	レーザー 加工	ヒータ	ポンプ	ファン ブロワ	集塵機	コンプレッサ	受変電設備	その他
102	75	57	53	17	7	6	3	3	2	2	4
82.3%	60.5%	46.0%	42.7%	13.7%	5.6%	4.8%	2.4%	2.4%	1.6%	1.6%	3.2%

≪省エネ・省電力補助金分析レポート≫

※電力需要の低減に資する設備投資支援事業「工場・事業場単位」採択のポイント

来年の採択に向けて

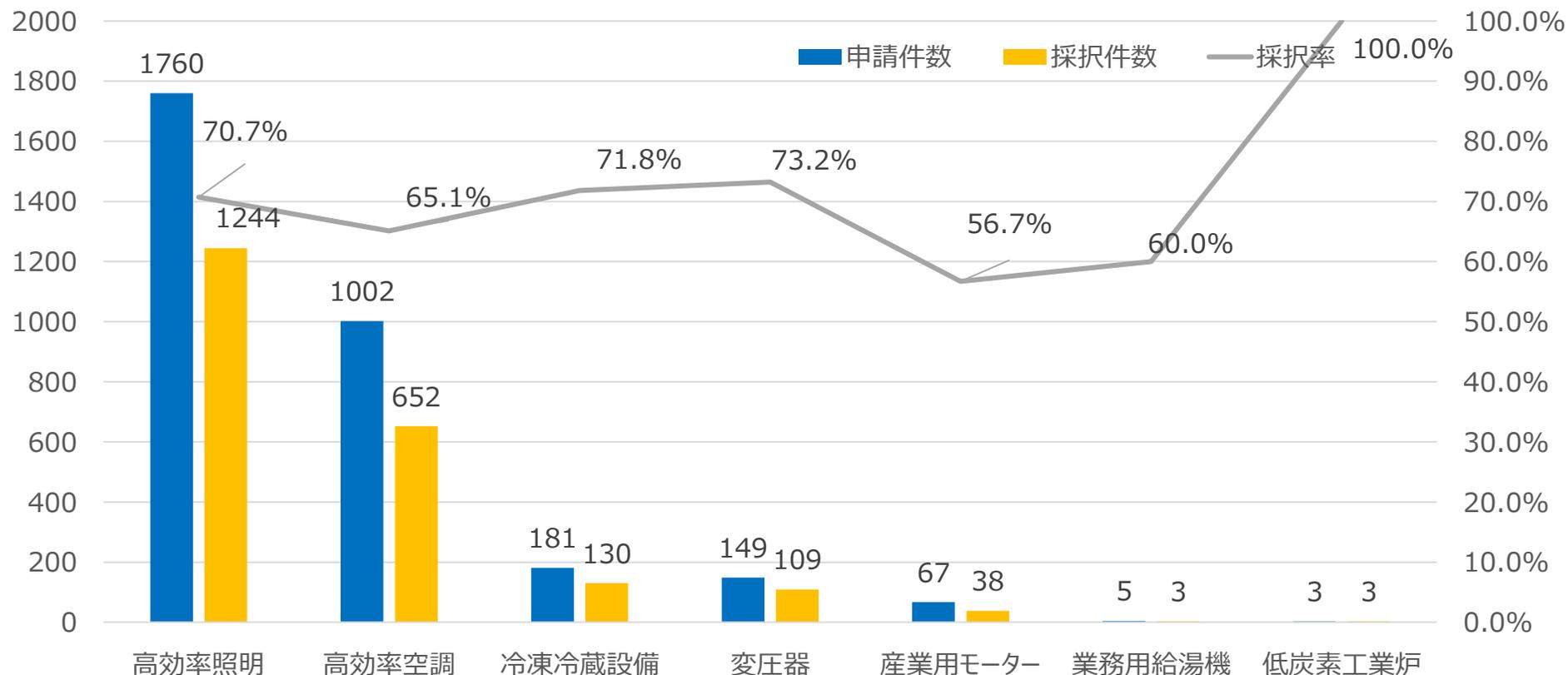
- 最低限の今年の採択案件の平均を越えること
 - 省電力率28.9%を越える
 - 省電力量252.1千kWhを越える
 - 費用対効果40.8千kWh/千万円を越える
- ※上記が難しい場合は、「設備単位」を狙うこと
- ※決算が赤字の場合は難しい
- 申請内容が良くても“加点不足”で採択されない可能性があるため加点項目も検討すること
- 早めの準備で「自社WEBサイトでの省エネ数値目標をPR」するような提案をすること
- 直近の“加点項目に政策的意図が表れている”
「優良事業者」、「情報技術の活用(VPP)」、「事業者間連携」
「中小企業の優遇」も意識すること

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※電力需要の低減に資する設備投資支援事業「設備単位」今年の採択結果

■設備別 採択結果

- 全体の採択率は**69.4%**となった
- 「高効率照明」「高効率空調」の採択数の合計が全体の8割以上となった



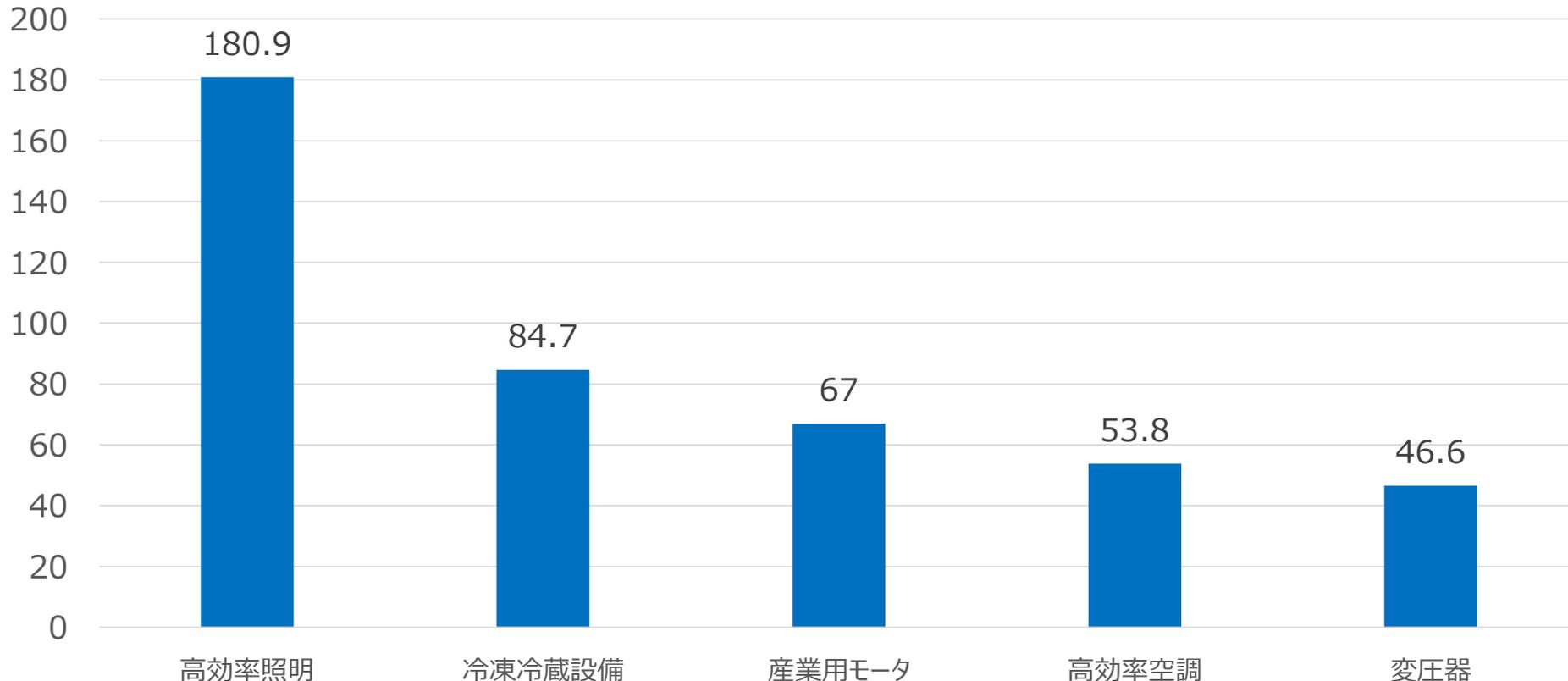
「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※電力需要の低減に資する設備投資支援事業「設備単位」今年の採択結果

■設備別 採択結果

- ・ 以下は、各設備ごとの採択案件に関して、補助支給額1,000万円とした際の省エネルギー量を機器の耐用年数も考慮した上で平均値として整理したものである
- ・ 結果的に採択されるための一つの基準値になったと考えられる

平均費用対効果 (kl/千万円)



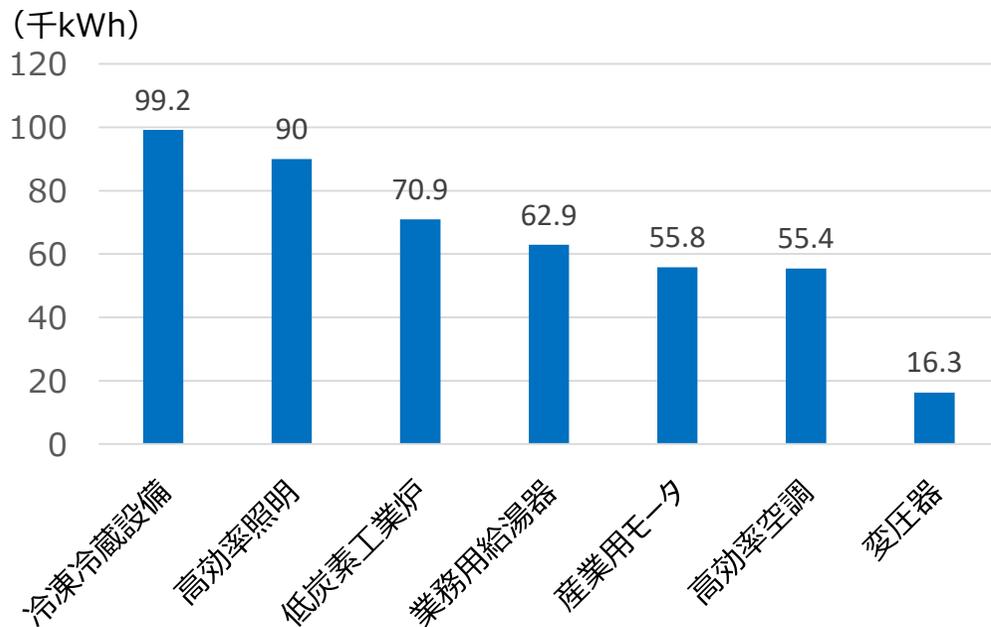
「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※電力需要の低減に資する設備投資支援事業「設備単位」今年の採択結果

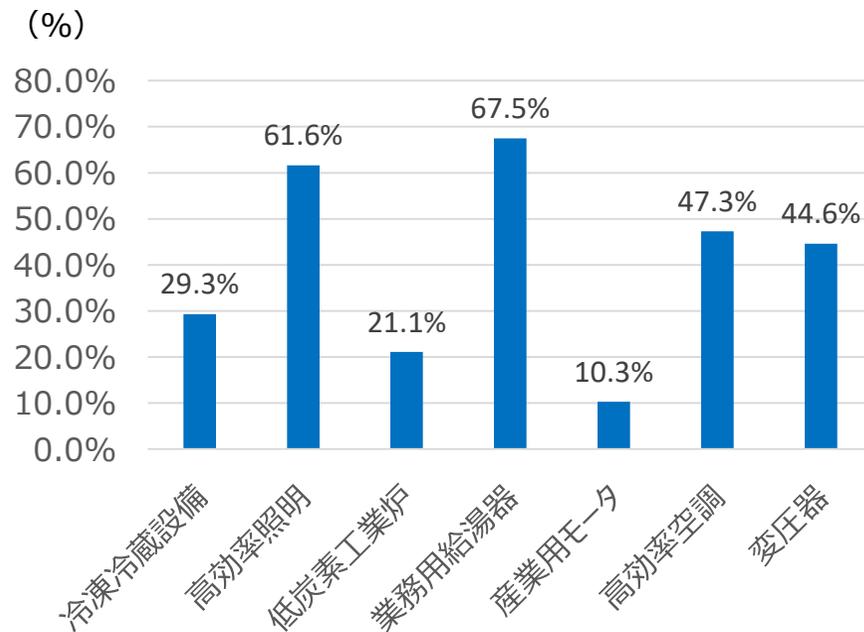
■設備別 採択結果

- ・ 以下は、「設備別の省電力量・平均省電力率」となる
- ・ 特に**平均省エネ率は、結果的に採択されるための一つの基準値**となる

設備別 平均省電力量



設備別 平均省電力率



設備 (千kWh)	冷凍冷蔵設備	高効率照明	低炭素工業炉	業務用給湯機	産業用モーター	高効率空調	変圧器
平均省エネ量	99.2	90	70.9	62.9	55.8	55.4	16.3

設備 (%)	冷凍冷蔵設備	高効率照明	低炭素工業炉	業務用給湯機	産業用モーター	高効率空調	変圧器
平均省エネ率	29.3	61.6	21.1	67.5	10.3	47.3	44.6

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※電力需要の低減に資する設備投資支援事業「設備単位」採択のポイント

＜設備単位＞

- 各設備ごとの「**去年の平均費用帯効果**」を越える設備更新を行なうこと
- 各設備ごとの「**去年の平均省エネ率・量**」を越える設備更新を行なうこと
- 前期の業績が良いうちに設備更新を行うこと、赤字があると通りにくい
- 中小企業は“**加点項目**”となり、採択されやすい

	高効率照明	高効率空調	産業ヒートポンプ	業務用給湯器	高性能ボイラ	低炭素工業炉	変圧器	冷凍冷蔵設備	産業用モータ
申請件数	1760	1002	0	5	0	3	149	181	67
採択件数	1244	652	0	3	0	3	109	130	38
採択率	71%	65%	-	60%	-	100%	73%	72%	57%
平均省電率	62%	47%	-	68%	-	21%	45%	29%	10%
平均省電力量 (千kWh)	90	55.4	-	62.9	-	70.90%	16.3	99.2	55.8
平均経費当り 省電力量 (kWh/千万円)	180.9	53.8	-	252.3	-	23.2	46.6	84.7	67

H31年度省電力補助金採択結果に基づく

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

3. エネルギー使用合理化等事業者支援事業 省エネ設備導入事業「工場・事業場単位」

補助の内容

補助のポイント

a)一般事業

①省エネ率5%以上 ②原単位改善率5%以上
 →中小企業：1/3以内
 →大企業：1/4以内

b)大規模事業

原油換算500kl以上の省エネ
 →中小企業：1/2以内（投資回収7年未満は1/3）
 →大企業：1/3以内（投資回収7年未満は1/4）

c)連携事業

複数事業者連携でa)、b)のいずれかを満たす
 →1/2以内

d)エネマネ事業

エネマネ事業者との連携、EMS&省エネ診断等
 省エネ率2%以上
 →中小企業：1/2以内
 →大企業：1/3以内

◆補助対象経費

設計費、設備費、工事費

◆予算額

115億円（設備単位と合わせて）

◆補助金募集期間

5月20日（月）～6月28日（金）

◆補助制度の執行

経済産業省

イメージ

照明



空調



冷凍冷蔵庫



給湯器・蒸気ボイラー



工業炉



変圧器



コンプレッサ



廃熱利用



レーザー加工機



成型機
(成形機)



印刷機



「省エネ・省電力補助金分析レポート」

4. エネルギー使用合理化等事業者支援事業 省エネ設備導入事業「設備単位」

補助の内容

補助の概要

既存設備を、補助対象設備ごとに定められた省電力効果の高い設備へ更新行う

補助のポイント

◆補助対象設備

空調、産業ヒートポンプ、給湯器、ボイラ、
コージェネ、低炭素工業炉、冷凍冷蔵設備、
産業用モータ（コンプレッサ、ポンプ、ファンなど）

◆補助対象経費

設備費(大企業は対象外)

◆補助率

1/3以内

◆補助上限・下限

上限：3,000万円
下限：30万円

◆予算額

115億円（工場・事業場単位と合わせて）

◆補助金募集期間

5月20日（月）～6月28日（金）

◆補助制度の執行

経済産業省

イメージ

照明



空調



チラー



ターボ冷凍機



冷凍冷蔵庫



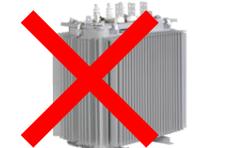
給湯器・ 蒸気ボイラー



工業炉



変圧器



コンプレッサ・ポンプ・ ファン・ブロワ

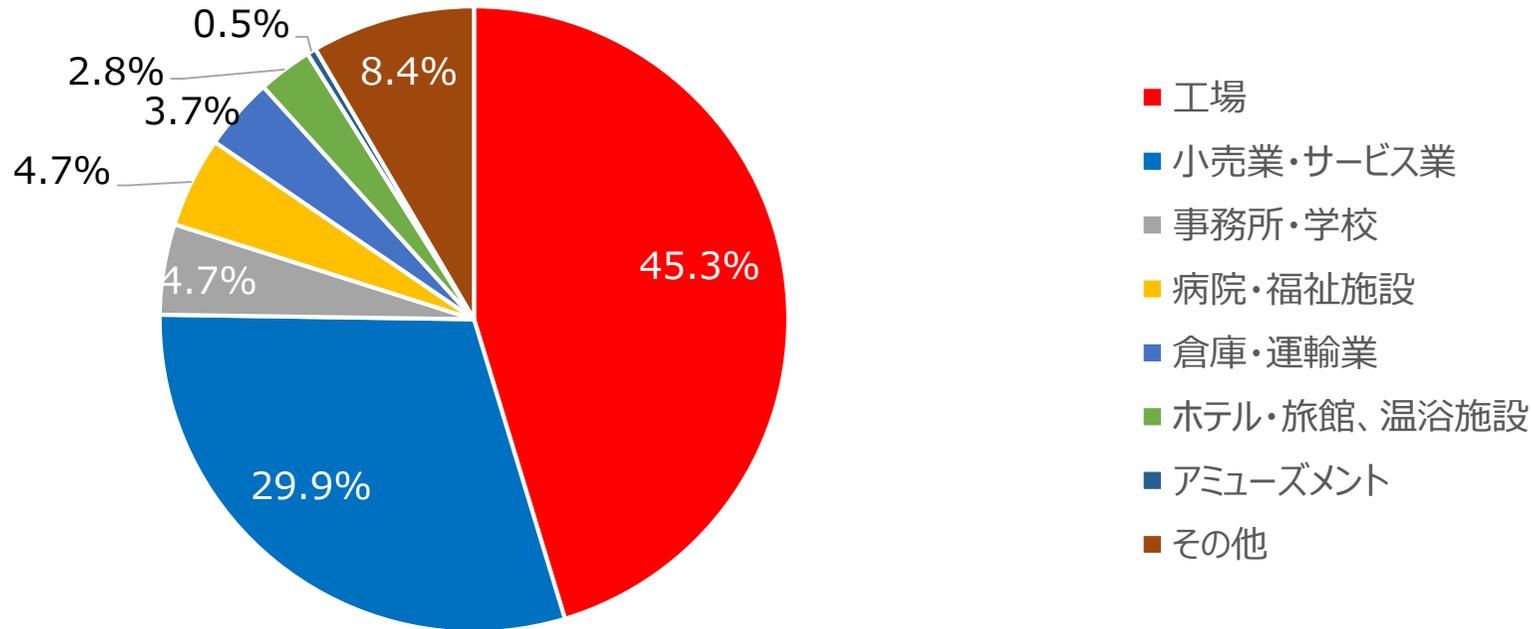


「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※エネルギー使用合理化等事業者支援事業「工場・事業場単位」今年の採択結果

■業種別 採択結果

- ・ 昨年に引き続き、「工場」の採択が5割近くを占めた
- ・ 次に「小売業・サービス業」が続き、「工場」と併せて全体の4分の3を占めた



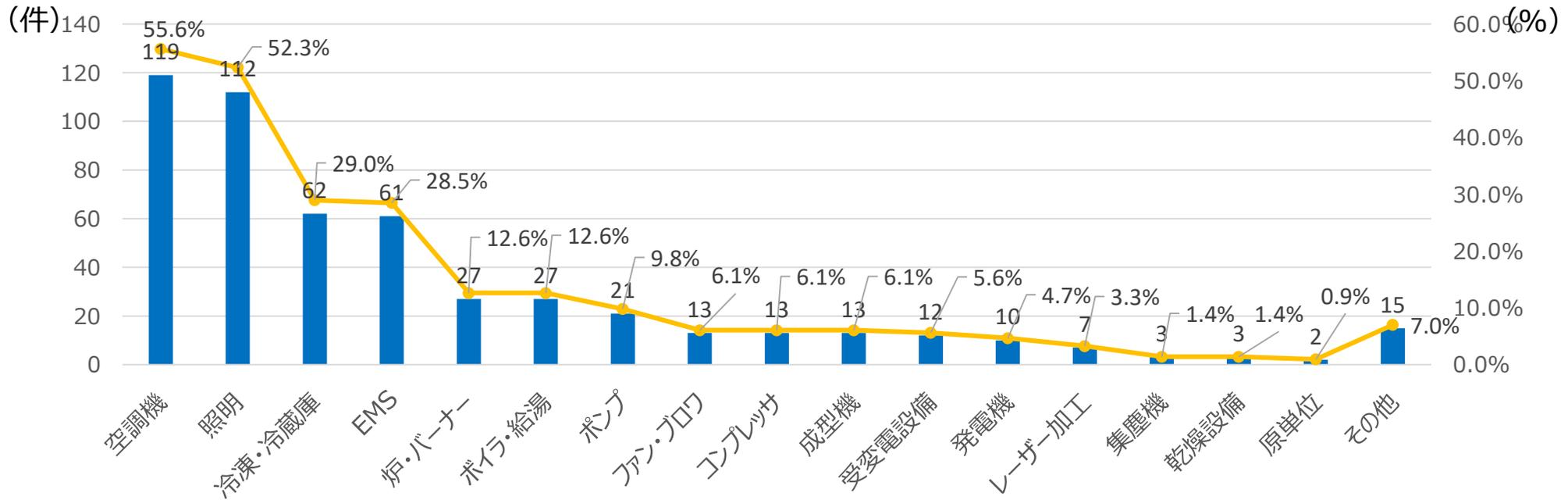
工場	小売業・サービス業	事務所・学校	病院・福祉施設	倉庫・運輸業	ホテル・旅館、温浴施設	アミューズメント	その他	> 合計
97	64	10	10	8	6	1	18	214
45.3%	29.9%	4.7%	4.7%	3.7%	2.8%	0.5%	8.4%	100%

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※エネルギー使用合理化等事業者支援事業「工場・事業場単位」今年の採択結果

■設備別 採択結果

- 全体の採択率は**91.1%**となった
- 空調機と照明はともに**全体の50%以上**の採択率となった



空調機	照明	冷凍 冷蔵庫	EMS	炉 バーナー	ボイラ 給湯	ポンプ	ファン ブロワ	コンプレッサ	成型機	受変電 設備	発電機	レーザー 加工	集塵機	乾燥 設備	原単位	その他
119	112	62	61	27	27	21	13	13	13	12	10	7	3	3	2	15
55.6%	52.3%	29.0%	28.5%	12.6%	12.6%	9.8%	6.1%	6.1%	6.1%	5.6%	4.7%	3.3%	1.4%	1.4%	0.9%	7.0%

≪省エネ・省電力補助金分析レポート≫

※エネルギー使用合理化等事業者支援事業「工場・事業場単位」採択のポイント

来年の採択に向けて

- 最低限の今年の採択案件の平均を越えること
 - 省エネ率18.1%を越える
 - 省エネ量841.9klを越える
 - 費用対効果11.1kl/千万円を越える
- ※上記が難しい場合は、「設備単位」を狙うこと
- ※決算が赤字の場合は難しい

- 申請内容が良くても“加点不足”で採択されない可能性があるため加点項目も検討すること

- 早めの準備で「自社WEBサイトでの省エネ数値目標をPR」するような提案をすること

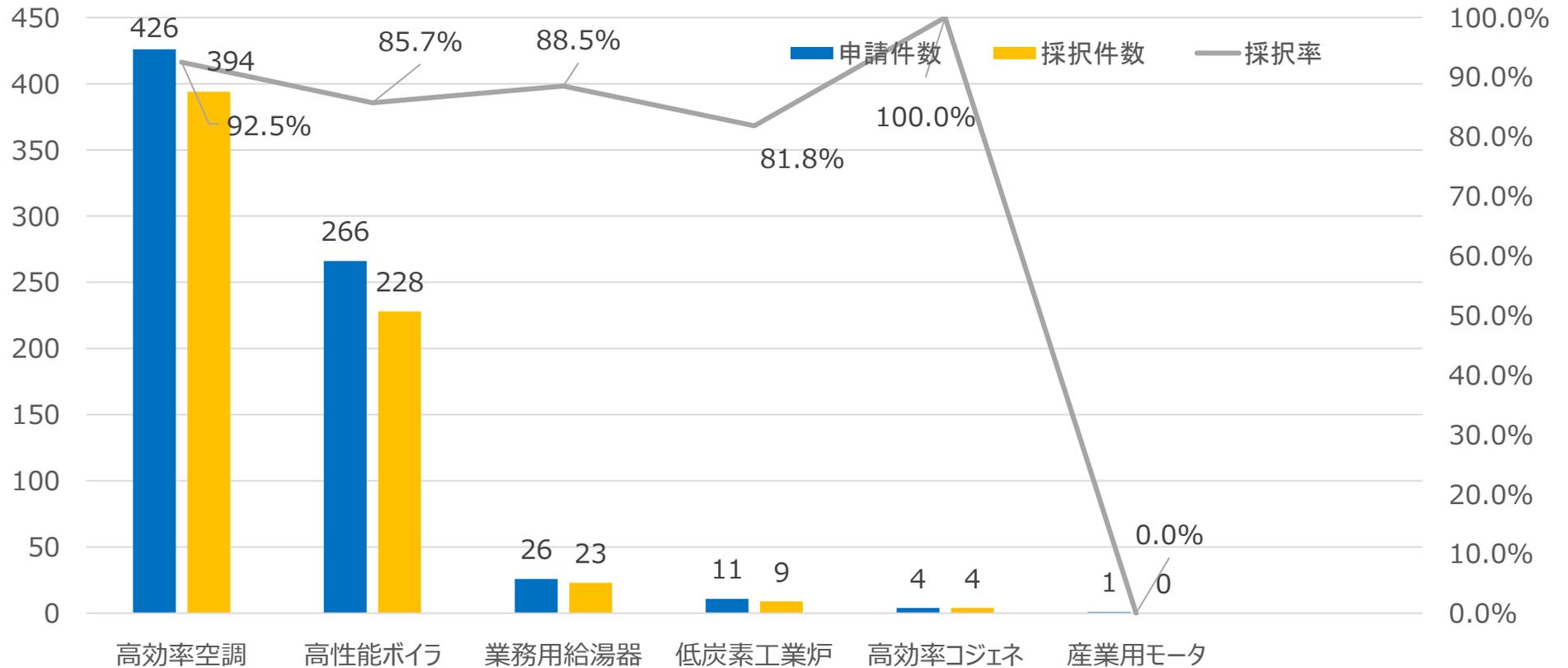
- 直近の“加点項目に政策的意図が表れている”
「優良事業者」、「情報技術の活用(VPP)」、「事業者間連携」
「中小企業の優遇」も意識すること

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※エネルギー使用合理化等事業者支援事業「設備単位」今年の採択結果

■設備別 採択結果

- 全体の採択率は**90.0%**となった
- 高効率空調の採択は設備別で**最も多い結果**となった



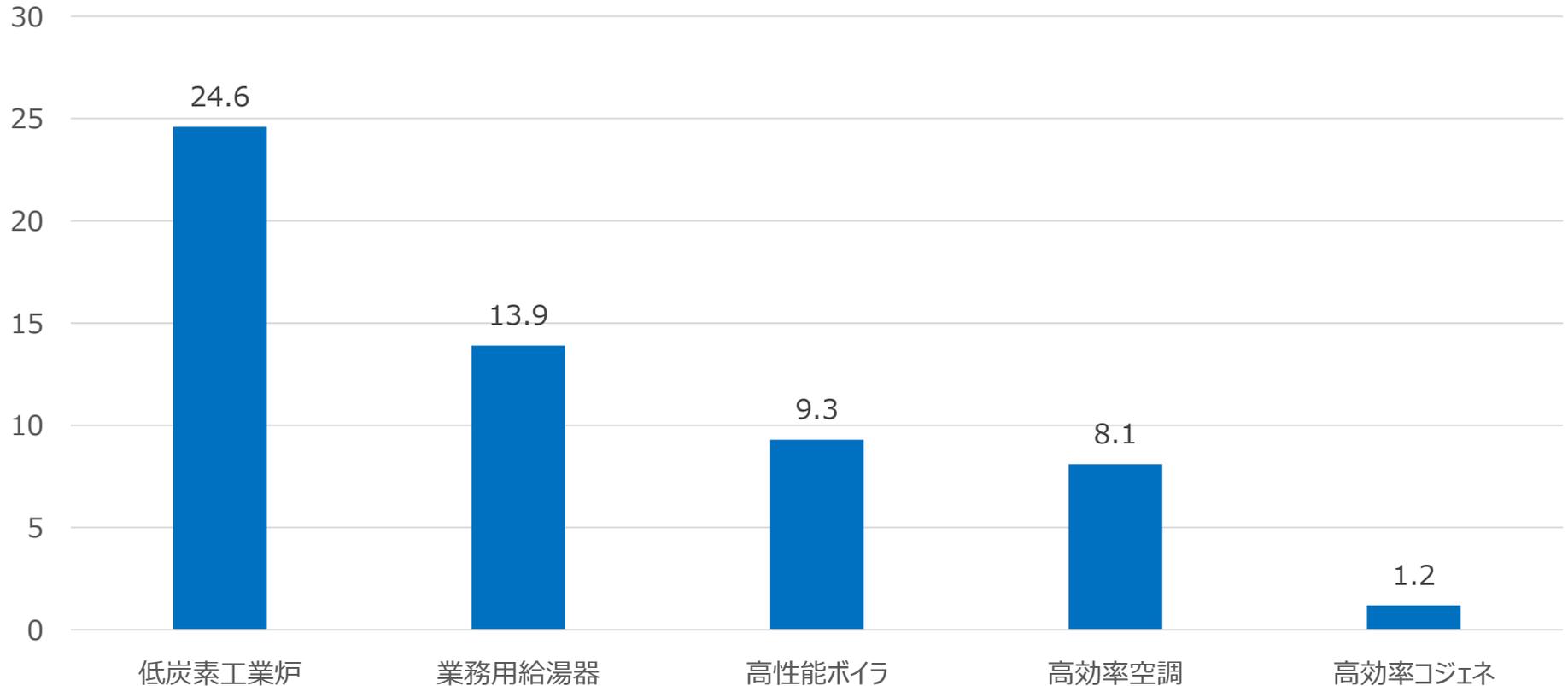
「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※エネルギー使用合理化等事業者支援事業「設備単位」今年の採択結果

■設備別 採択結果

- ・ 以下は、各設備ごとの採択案件に関して、補助支給額1,000万円とした際の省エネルギー量を機器の耐用年数も考慮した上で平均値として整理したものである
結果的に採択されるための一つの基準値となったと考えられる

平均費用対効果 (kI/千万円)



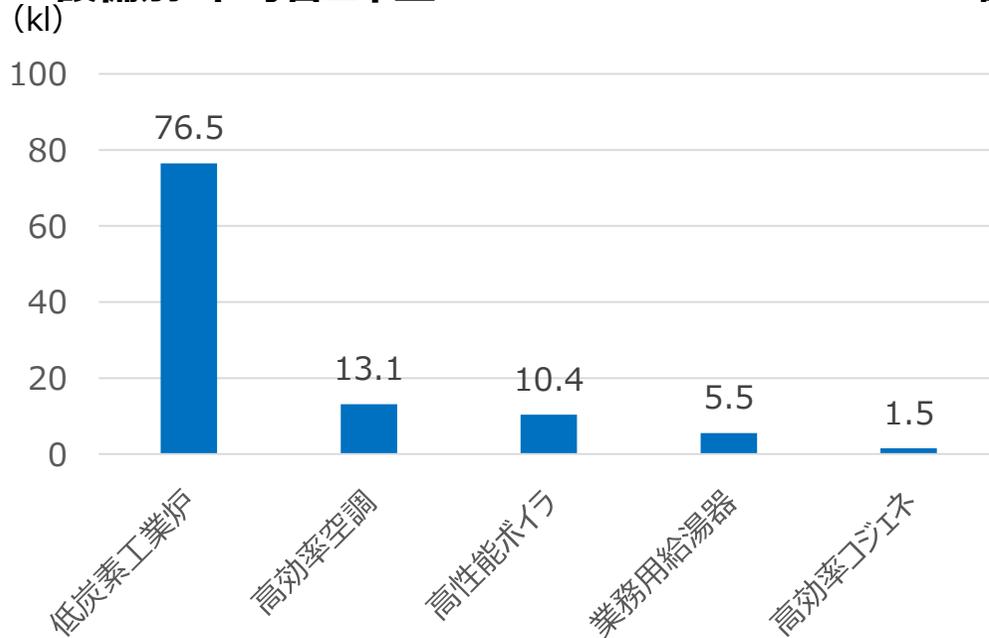
「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※エネルギー使用合理化等事業者支援事業「設備単位」今年の採択結果

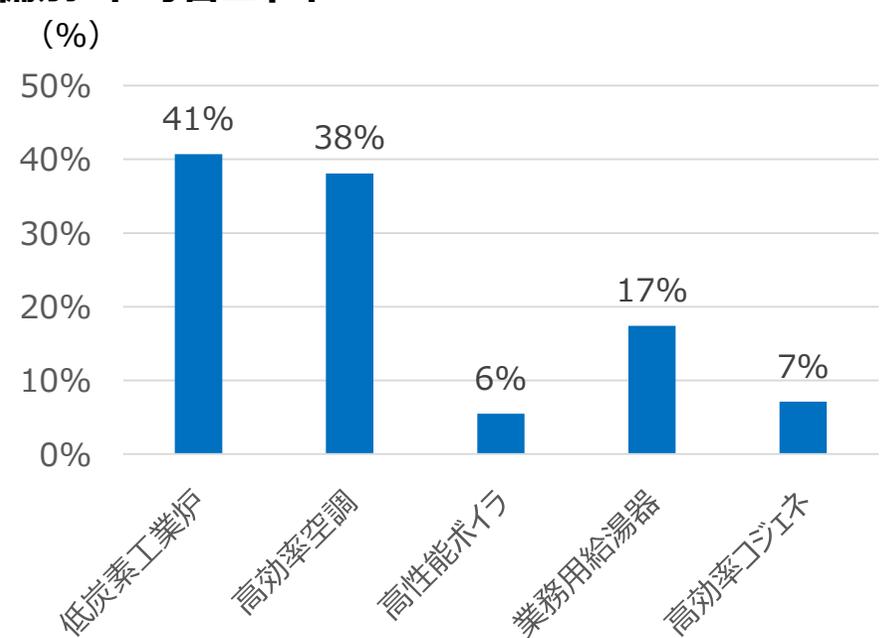
■ 設備別 採択結果

- ・ 平均省エネ量では、**低炭素工業炉が75kl以上の高い省エネ量**となった
- ・ 平均省エネ率では、**低炭素工業炉・高効率空調の割合がともに約40%**となった

設備別 平均省エネ量



設備別 平均省エネ率



設備(kl)	低炭素工業炉	高効率空調	高性能ボイラ	業務用給湯機	高効率コジェネ
平均省エネ量	76.5	13.1	10.4	5.5	1.5

設備(%)	低炭素工業炉	高効率空調	高性能ボイラ	業務用給湯機	高効率コジェネ
平均省エネ率	40.7	38.1	5.5	17.4	7.1

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

※エネルギー使用合理化等事業者支援事業「設備単位」採択のポイント

＜設備単位＞

- 各設備ごとの「**昨年の平均費用帯効果**」を越える設備更新を行なうこと
- 各設備ごとの「**昨年の平均省エネ率・量**」を越える設備更新を行なうこと
- 前期の業績良いうちに設備更新を行うこと、赤字があると通りにくい
- 大企業が採択対象外とされ、中小企業は“**加点項目**”となり、採択されやすい

	高効率空調	産業ヒートポンプ	業務用給湯器	高性能ボイラ	高効率コジェネ	低炭素工業炉	冷凍冷蔵設備	産業用モータ
申請件数	426	0	26	266	4	11	0	1
採択件数	394	0	23	228	4	9	0	0
採択率	93%	-	89%	86%	100%	82%	-	0%
平均省エネ率	38.1%	-	17.4%	5.5%	7.1%	40.7%	-	-
平均省エネ量(kl)	13.1	-	5.5	10.4	1.5	76.5	-	-
平均経費当り省電力量 (kl/千万円)	8.1	-	13.9	9.3	1.2	24.6	-	-

H31年度省エネ補助金採択結果に基づく

「省エネ・省電力補助金分析レポート」

「工場・事業場単位」における採択率推移

※平成31年度は「電力需要の低減に資する設備投資支援事業費補助金」と「エネルギー使用合理化等事業者支援事業」の合算値

■ 採択率推移

- ・ 新補助金制度になったが、**申請件数・採択件数は減少傾向にある**
- ・ 昨年に引き続き、**今年度も採択率は向上した**

